平成２６年管内事業用自動車事故統計

国 土 交 通 省

九 州 運 輸 局

ま　え　が　き

平成２６年に発生した全国の交通事故による死者数は、警察庁発表で４，１１３人となり１４年連続減少となるとともに、ピーク時の３割以下となりました。また、平成１６年に過去最悪を記録した交通事故の発生件数及び負傷者数も、平成１７年以降１０年連続で減少となりました。しかし、依然として５７万件と多くの交通事故が発生しており、事故防止対策の更なる拡充・強化等の対策の策定が求められています。

交通事故の根絶は国民をあげての悲願であり、特に自動車運送事業者にあっては、輸送の安全を確保することは最大の使命であります。人命尊重はもちろん企業防衛の上からも更に積極的に事故防止に取り組まなければなりません。

本書は、平成２６年中に発生した事業用自動車の重大事故について、九州運輸局管内の自動車運送事業者から報告されたものを取りまとめたものです。

重大事故の発生を防止するためには、的確な状況分析を行い背後的要因との関係を正確に把握し、これらに適応した措置を講ずることが緊急の要務であります。

本資料が今後の事故防止対策の一助となれば幸いと存じます。

平成２７年８月

九州運輸局　自動車技術安全部　保安・環境課

目　　次

ま　え　が　き

Ⅰ　交通事故の現状

１．交通事故発生状況　１

Ⅱ　管内事業用自動車の重大事故発生状況

１．重大事故発生状況　２

２．業態別重大事故発生状況　４

３．事故種類別重大事故発生状況　７

４．事故原因別発生状況　１０

５．事故惹起運転者の状況（有責事故）　１２

６．事故発生地点の道路状況　１５

７．月別・曜日別・時刻別発生状況　１７

８．危険認知速度別事故発生状況　２０

９．高速道路等における重大事故発生状況　２１

Ⅲ　管内事業用自動車の重大事故統計

１．業態別・県別・年次別重大事故発生状況　２３

２．業態別・事故の種類別・年次別重大事故発生状況　２３

３．県別・業態別重大事故発生状況　２４

４．県別・業態別・種類別重大事故発生状況　２５

５．そ　の　他　２８

用　語　の　意　味

１．重大事故とは、自動車事故報告規則第２条に規定する事故をいう。

２．事故（自動車事故報告規則第２条）とは、次のいずれかに該当する自動車事故をいう。

⑴ 自動車が転覆し、転落し、火災（積載物品の火災を含む）を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触したもの。

⑵ １０台以上の自動車の衝突又は接触を生じたもの。

⑶ 死者又は重傷者を生じたもの。

⑷ １０人以上の負傷者を生じたもの。

⑸ 自動車に積載された危険物等が飛散し、又は漏えいしたもの。

⑹ 自動車に積載されたコンテナが落下したもの。

⑺ 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により、旅客に１１日以上の医師の治療を要する傷害が生じたもの。

⑻ 酒気帯び運転、無免許運転、大型自動車等無資格運転又は麻薬等運転を伴うもの。

⑼ 運転者の疾病により、事業用自動車の運転を継続できなくなったもの。

⑽ 救護義務違反があったもの。

⑾ 自動車の装置の故障により運行できなくなったもの。

⑿ 車輪の脱落、被牽引自動車の分離を生じたもの。

⒀ 鉄道施設を損傷し、３時間以上本線において鉄道車両の運転を休止させたもの。

⒁ 高速自動車国道又は自動車専用道路において３時間以上自動車の通行を禁止させたもの。

⒂ 国土交通大臣が特に必要と認めて報告を指示したもの。

３．事故種類の定義は次のとおりとする。

転　覆	当該自動車が道路上において路面と３５度以上傾斜したとき。
転　落	当該自動車が道路外に転落した場合で、その落差が０．５メートル以上のとき。
路外逸脱	当該自動車の車輪が道路（車道と歩道の区分のある場合は車道）外に逸脱した場合で「転落」以外のとき。
火　災	当該自動車又は積載物品に火災が生じたとき。
踏　切	当該自動車が踏切において、鉄道車両又は軌道車と衝突し、又は接触したとき。
衝　突	当該自動車が鉄道車両、軌道車、トロリーバス、自動車、原動機付自転車、牛馬車、家屋その他の物件に衝突し、又は接触したとき。
死　傷	当該自動車が通行人（自転車に乗っている者を含む）等自動車に乗車していない者を死傷させたとき。
危険物等	危険物、高圧ガス、毒物、劇物等の危険物等を運搬する車両から積載物質が飛散、漏えいしたもの又は自動車に積載されたコンテナが落下したもの。
車　内	操縦装置又は乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により、旅客（乗降する際の旅客を含む。）を死傷させたとき。
飲酒等	酒気帯び運転、無免許運転、大型自動車等無資格運転又は麻薬等運転を伴うもの。
健康起因	運転者の疾病により、運転を継続することができなくなったもの。

救護違反　　救護義務違反があったもの。

車両故障　　自動車の装置（道路運送車両法第４１条各号に掲げる装置をいう）の故障により、自動車が運行できなくなったもの又は車輪の脱落、被牽引自動車の分離を生じたもの。

交通障害　　鉄道施設を損傷し、３時間以上本線において鉄道車両の運転を休止させたもの又は高速自動車国道又は自動車専用道路において３時間以上自動車の通行を禁止させたもの

そ の 他　　前各区分に該当しないとき。

４．重傷とは次のいずれかの傷害を受けたとき。

⑴ 脊柱の骨折

⑵ 上腕又は前腕の骨折

⑶ 大腿又は下腿の骨折

⑷ 内臓の破裂

⑸ １４日以上病院に入院することを要する傷害

⑹ 病院に入院することを要する傷害で、医師の治療を要する期間が３０日以上のもの。

５．死亡とは、事故が原因で死亡したもの。（ 事故発生後２４時間以内に死亡したもの ）

６．軽傷とは、上記４及び５以外の負傷者をいう。

Ⅰ 交通事故の現状

１．交通事故発生状況

平成２６年中に全国で発生した交通事故の発生件数、死者数及び負傷者数は、〔表１，表２〕のとおりです。発生件数は前年に比べて55,179件減の573,842件（-8.8%）で、死者数は260人減の4,113人（-5.9%）、負傷者数は70,120人減の711,374人（-9.0%）となっており、死者数は１４年連続減少し、平成１６年に過去最悪を記録した交通事故の発生件数及び負傷者数も、１０年連続で減少しました。また、発生件数は平成４年以来１９年振りに７０万件を下回った平成２３年以降、４年連続で減少しました。

九州（沖縄除く）における対前年比については、事故発生件数が6,939件減（-7.3%）、死者数が19人減（-3.3%）、負傷者数は9,886人減（-7.6%）となっています。

〔表1〕　事故件数及び死傷者数等

地区＼年別		平成25年	平成26年	増 減 数	増 減 率
全　国	発生件数	629，021	573，842	－55，179	－8．8%
	死 者 数	4，373	4，113	－260	－5．9%
	負傷者数	781，494	711，374	－70，120	－9．0%
九　州（沖縄を除く）	発生件数	94，371	87，432	－6，939	－7．4%
	死 者 数	530	527	－3	－0．6%
	負傷者数	121，899	112，396	－9，503	－7．8%

１，全国、九州地区の事故件数及び死傷者数は警察庁交通局資料による。

〔表2〕　交通事故の推移

年	件　数	死 者 数	負傷者数	保 有 車 両 数
昭和４５年	７１８，０８０	**１６，７６５**	９８１，０９６	１８，５８６，５０３
５０	４７２，９３８	１０，７９２	６２２，４６７	２８，９３４，０２０
５５	４７６，６７７	８，７６０	５９８，７１９	３８，９３８，９９６
６０	５５２，７８８	９，２６１	６８１，３４６	４７，８６１，６９１
平成２年	６４３，０９７	１１，０８６	７９０，２９５	６０，６５０，６２９
４	６９５，３４５	１１，４５１	８４４，００３	６４，７０９，３２３
７	７６１，７８９	１０，６７９	９２２，６７７	７０，０７３，５４４
１１	８５０，３６３	９，００６	１，０５０，３９７	７４，９１４，６７９
１２	９３１，９３４	９，０６６	１，１５５，６９７	７５，８６４，７１０
１３	９４７，１６９	８，７４７	１，１８０，９５５	７６，６６４，２８６
１４	９３６，７２１	８，３２６	１，１６７，８５５	７７，３０４，３１３
１５	９４７，９９３	７，７０２	１，１８１，４３１	７７，５８０，６５８
１６	**９５２，１９１**	７，３５８	**１，１８３，１２０**	７８，０９１，０９７
１７	９３３，８２８	６，８７１	１，１５６，６３３	７９，２０７，２０７
１８	８８６，８６４	６，３５２	１，０９８，１９９	７９，４５２，５５７
１９	８３２，４５４	５，７４４	１，０３４，４４５	７９，３７１，０１４
２０	７６６，１４７	５，１５５	９４５，５０４	７９，２３６，５３２
２１	７３７，４７４	４，９１４	９１１，１０８	７９，０４２，０５６
２２	７２５，７７３	４，８６３	８９６，２０８	７９，０９１，５３６
２３	６９１，９３７	４，６１２	８５４，４９３	７９，２４１，７３８
２４	６６５，１３８	４，４１１	８２５，３９６	７９，１１２，５８４
２５	６２９，０２１	４，３７３	７８１，４９４	７９，６２５，２０３
２６	５７３，８４２	４，１１３	７１１，３７４	**８０，２７２，５７１**

警察庁交通局資料より抜粋……青色部分は最高値

Ⅱ 管内事業用自動車の重大事故発生状況

１．重大事故発生状況

① 重大事故発生件数及び被害状況

管内で平成２６年中に、自動車事故報告規則に基づき自動車運送事業者より報告された重大事故の発生件数及び被害状況は〔表3〕のとおりです。

〔表3〕 重大事故発生件数及び被害状況

項目＼年別	平成２５年	平成２６年	増減数
件数（件）	６３６	６１８	－１８
死者数（人）	１００	９０	－１０
負傷者数（人）	５１７	３９０	－１２７

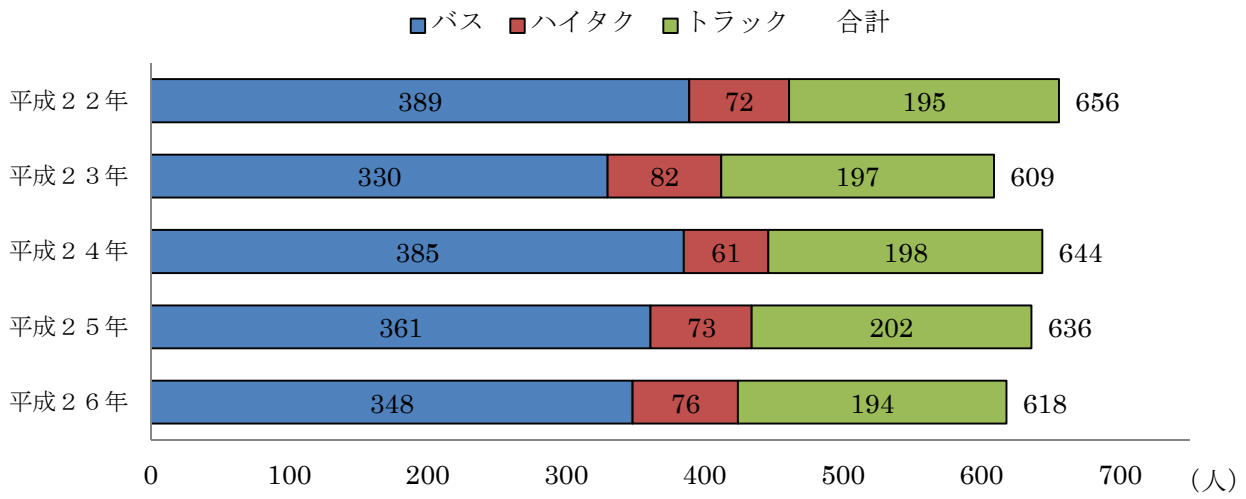
② 重大事故発生件数及び死傷者数の推移

重大事故発生件数及び死傷者数の推移は〔表4〕及び〔図1-1〕～〔図1-3〕のとおりです。

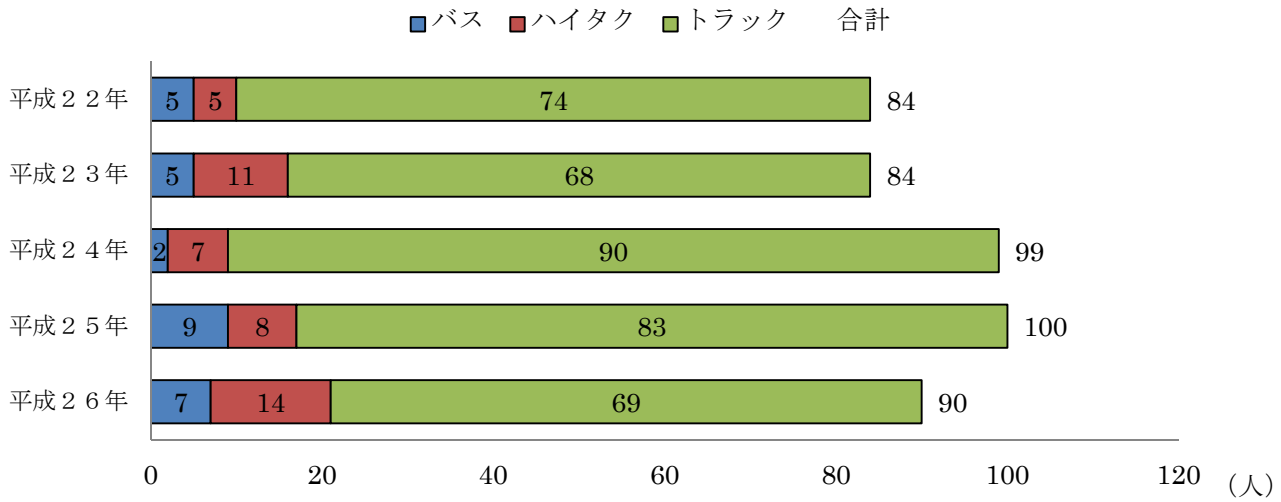
〔表4〕 重大事故発生件数及び死者数の推移

項目＼年別	平成２２年	平成２３年	平成２４年	平成２５年	平成２６年
件数（件）	６５６	６０９	６４４	６３６	６１８
死者数（人）	８４	８４	９９	１００	９０
負傷者数（人）	４１０	４５０	３７９	５１７	３９０

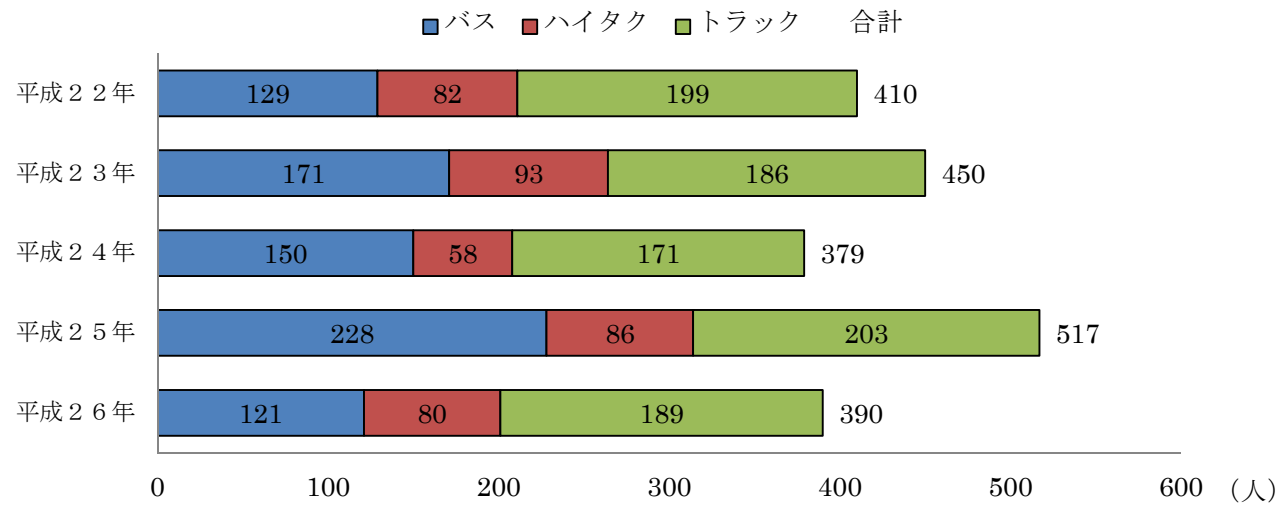
〔図1-1〕　重大事故発生件数の推移



〔図1-2〕　重大事故による死者数の推移



〔図1-3〕　重大事故による負傷者の推移



２．業態別重大事故発生状況

平成２６年中における事業用自動車の重大事故発生状況を、事業の業態別に示すと〔表5〕のとおりです。

総件数６１８件に対する業態別発生件数の割合は〔図2〕にあるように、バスによるものが最も多く全体の約56%を占めており、次いでトラック32%、ハイタク12%となっています。

業態別の死者、重傷者の内訳をみると〔図3〕のとおりで、死者の内77%がトラックによるもので、ハイタク15%、バス8%となっています。 また、重傷者については43%がトラックによるもので、ハイタクが33%、バスが24%となっています。

業態別事故100件当たりの人身被害者数は〔図4〕のとおり、死者の発生状況ではトラックによるものが最も多く35.5人、次いでハイタクが18.4人、バスが2.0人となっており、重傷者についてはハイタクが最も多く78.9人、次いでトラックが41.2人、バスが12.6人となっています。また、事故100件当たりの死者数の推移は〔図5〕のとおり、トラックによる事故の死亡率が依然高い状態で続いています。

〔表5〕業態別重大事故発生状況

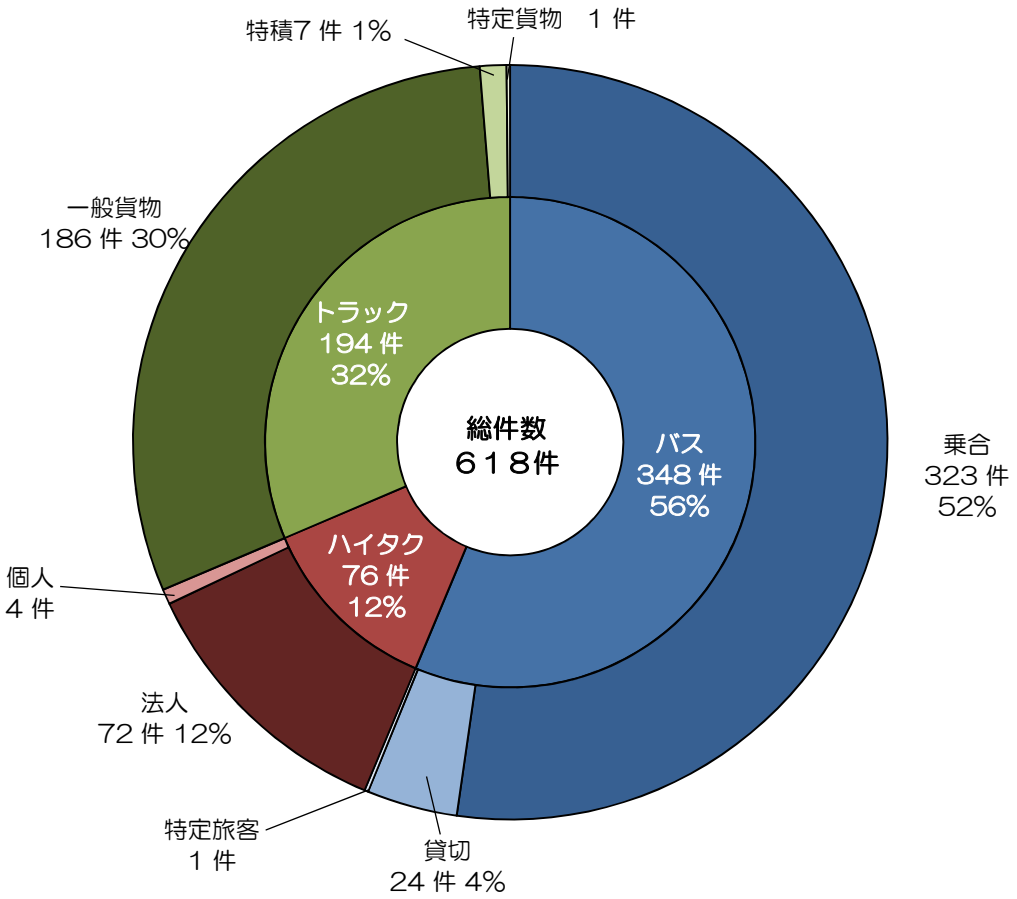
【九州】

区分＼業態別		バス	ハイタク	トラック	合計
件数		３４８	７６	１９４	６１８
死者		７	１４	６９	９０
負傷者	重傷者	４４	６０	８０	１８４
	軽傷者	７７	２０	１０９	２０６
	計	１２１	８０	１８９	３９０
事故百件当り	死者	２．０	１８．４	３５．５	１４．５
	重傷者	１２．６	７８．９	４１．２	２９．７
	軽傷者	２２．１	２６．３	５６．１	６３．１

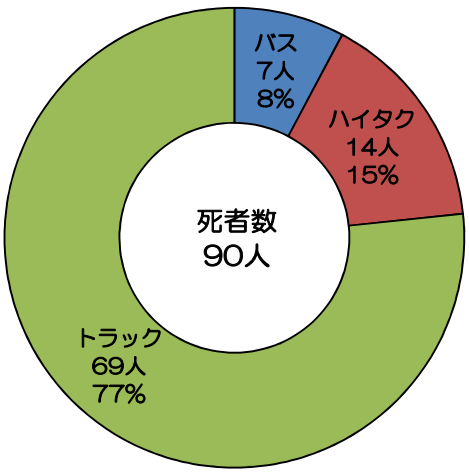
【参考　全国業態別重大事故発生状況】

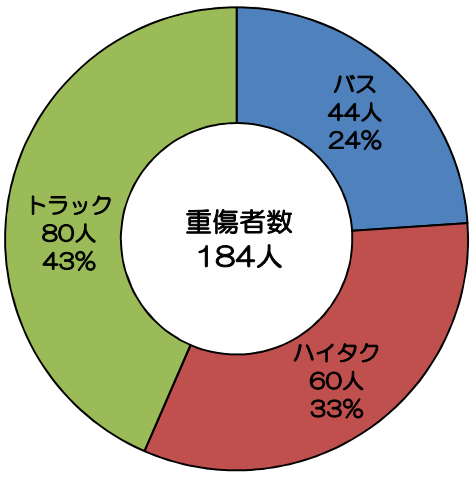
区分＼業態別		バス	ハイタク	トラック	合計
件数		２，９１８	６２２	１，９０６	５，４４６
死者		４６	７８	６２７	７５１
負傷者	重傷者	３５９	４７６	７５８	１，５９３
	軽傷者	９７２	２０２	８４５	２，０１９
	計	１３３１	６７８	１，６０３	３，６１２
事故百件当り	死者	１．７	１１．２	３３．９	１３．７
	重傷者	１２．０	７３．９	４０．７	２９．２
	軽傷者	２９．６	３９．４	５３．２	３７．０

〔図2〕 業態別重大事故発生状況

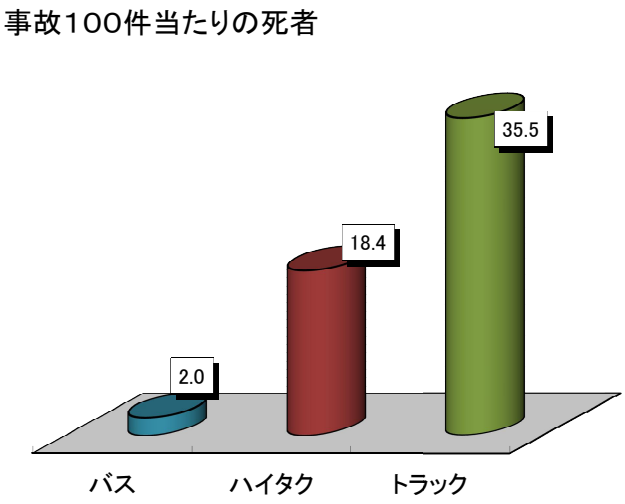


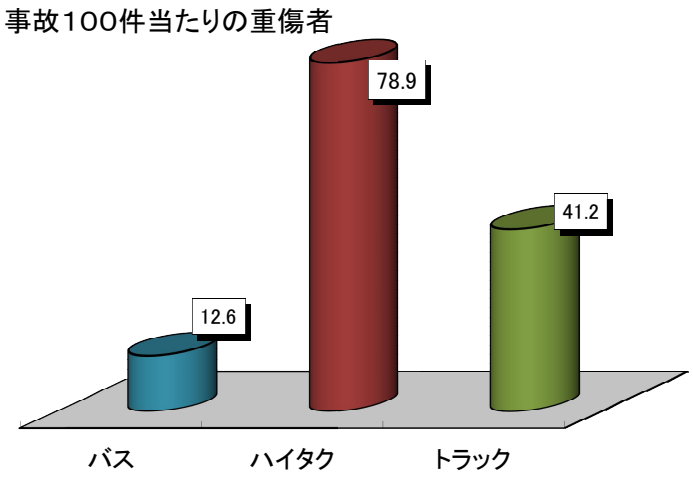
〔図3〕 業態別人身被害者数の内訳



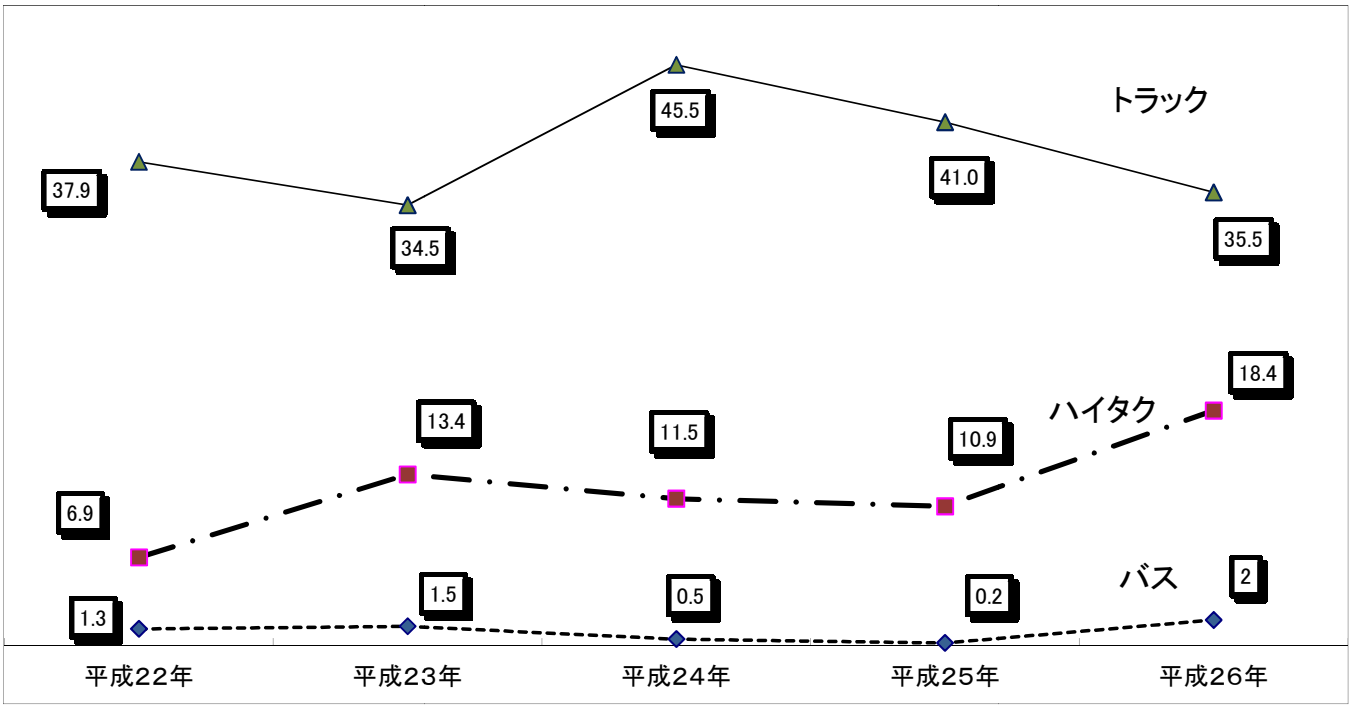


〔図4〕　業態別事故１００件当たりの人身被害者数





〔図5〕　業態別事故１００件当たりの死者数の推移

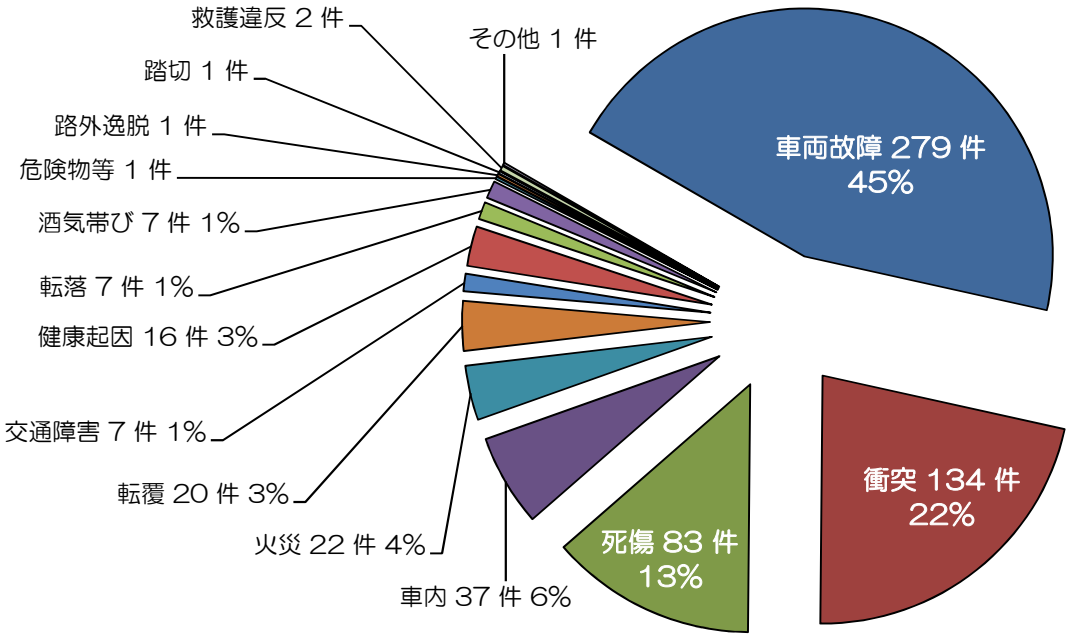


３．事故種類別重大事故発生状況

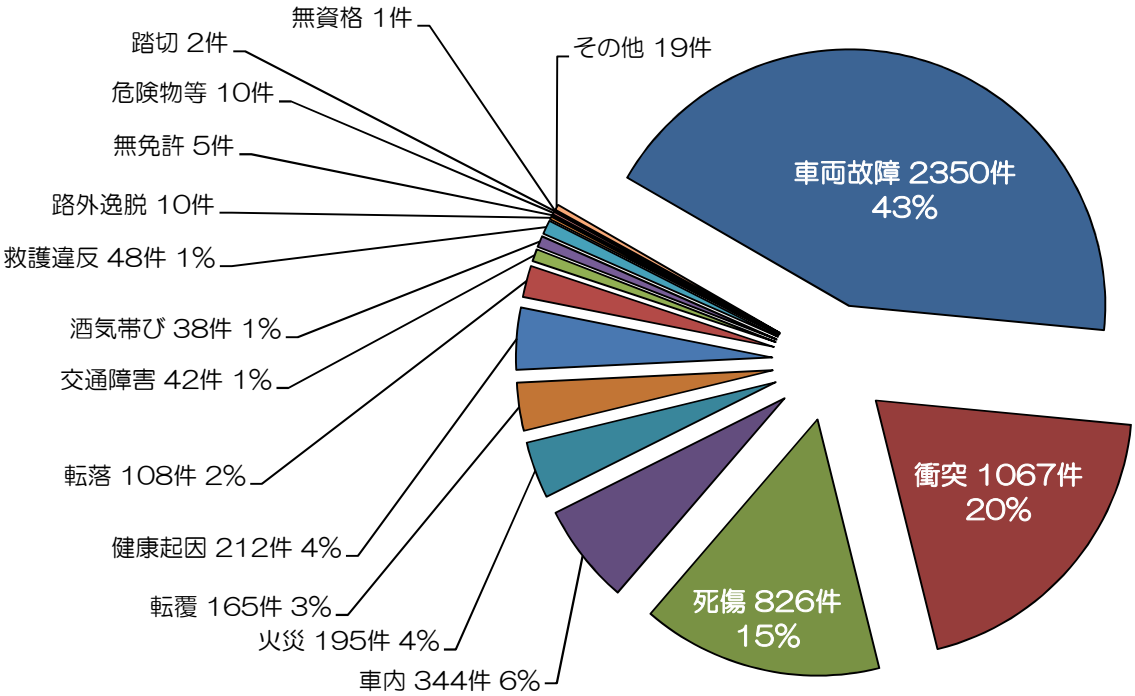
①　事故種類別発生状況

事故の種類別発生状況は〔図6-1〕のとおりです。車両故障事故が最も多く45%、次いで衝突事故が22%となっており、この２種類の事故で全体の67%を占めています。また死者数については、〔図6-2〕のとおり衝突事故によるものが60%、死傷事故によるものが36%となっており、死者数全体の96%が衝突及び死傷事故により発生しています。

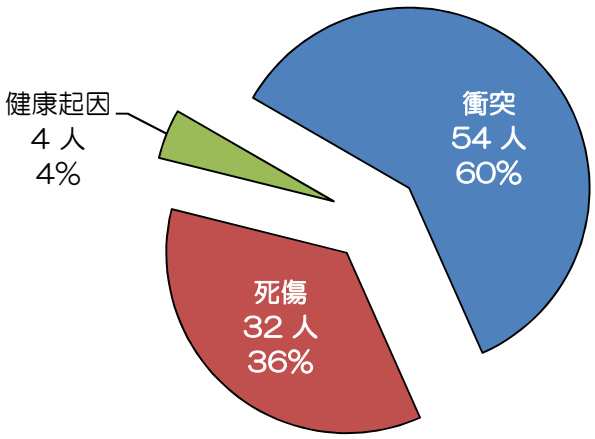
〔図6-1〕　事故種類別重大事故発生状況（総件数　６１８件）



【参考　全国事故種類別重大事故発生状況（総件数　５，４４６件）】



〔図6-2〕 事故種類別死者数（死者数 ９０人）



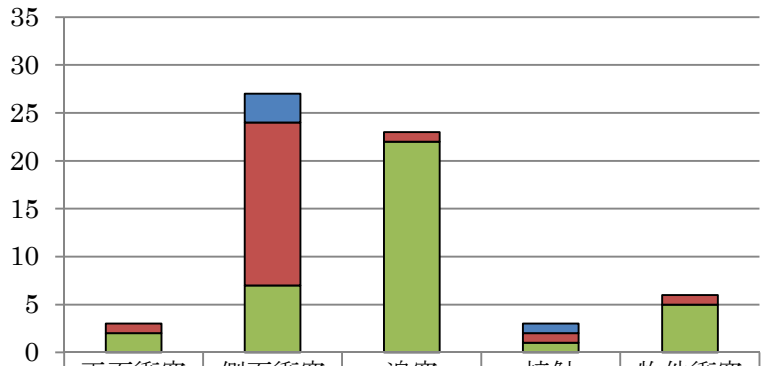
② 衝突事故

重大事故のうち車両故障を除いて最も多い衝突事故を業態別にみると〔表6〕のとおりです。衝突事故の46.2%は当該自動車の乗務員に起因するものです。その衝突の状態は〔図7〕のとおり、側面衝突が最も多く衝突事故全体の43.5%を占めています。

〔表6〕業態別衝突事故発生状況

業　態　別	件　数	乗務員に起因する もの	構成比（％）
バ　ス	１７	４	２３．５
ハイタク	２９	２１	７２．４
トラック	８８	３７	４２．０
計	１３４	６２	４６．２

〔図7〕 業態別衝突状態（乗務員に起因するもの ６２件）



	正面衝突	側面衝突	追突	接触	物件衝突
合　計（件）	3	27	23	3	6
バ　ス（件）	0	3	0	1	0
ハイタク（件）	1	17	1	1	1
トラック（件）	2	7	22	1	5

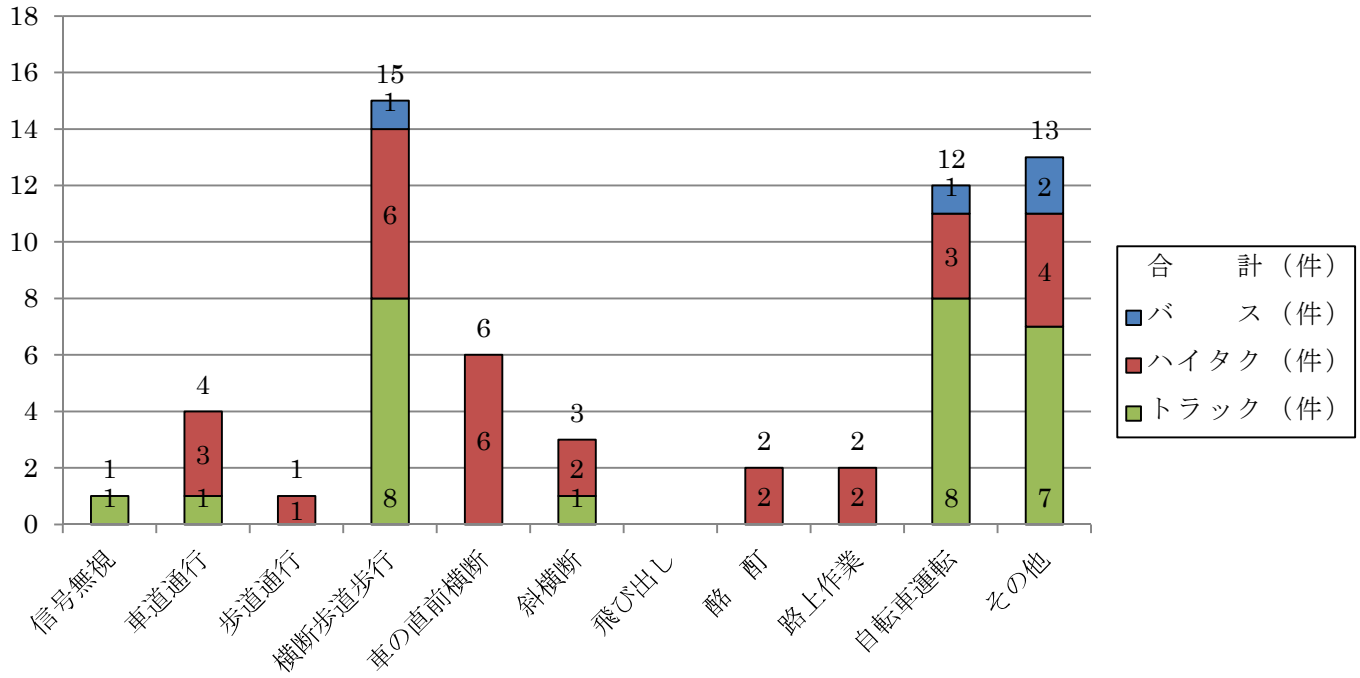
③　死傷事故

死傷事故は全事故件数の約13%にあたる83件で、業態別内訳はバス6件、ハイタク37件、トラック40件となっており、また、死傷事故の71%（59件）は乗務員に起因する事故となっています。

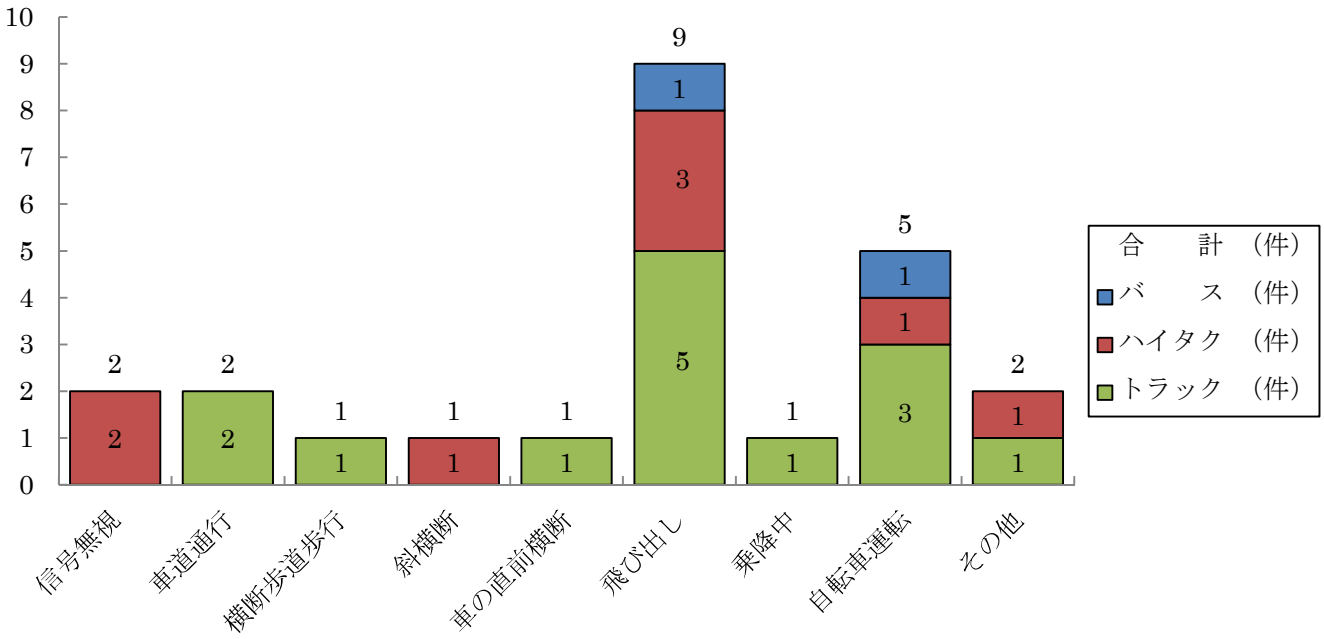
事故当時の死傷者の主な状態は〔図8-1〕及び〔図8-2〕のとおりで、乗務員に起因する事故においては「横断歩道歩行」での事故が多く、歩行者等に起因する事故においては「飛び出し」による事故が多くなっています。

〔図8-1〕　業態別死傷者状態

（乗務員に起因するもの　５９件）



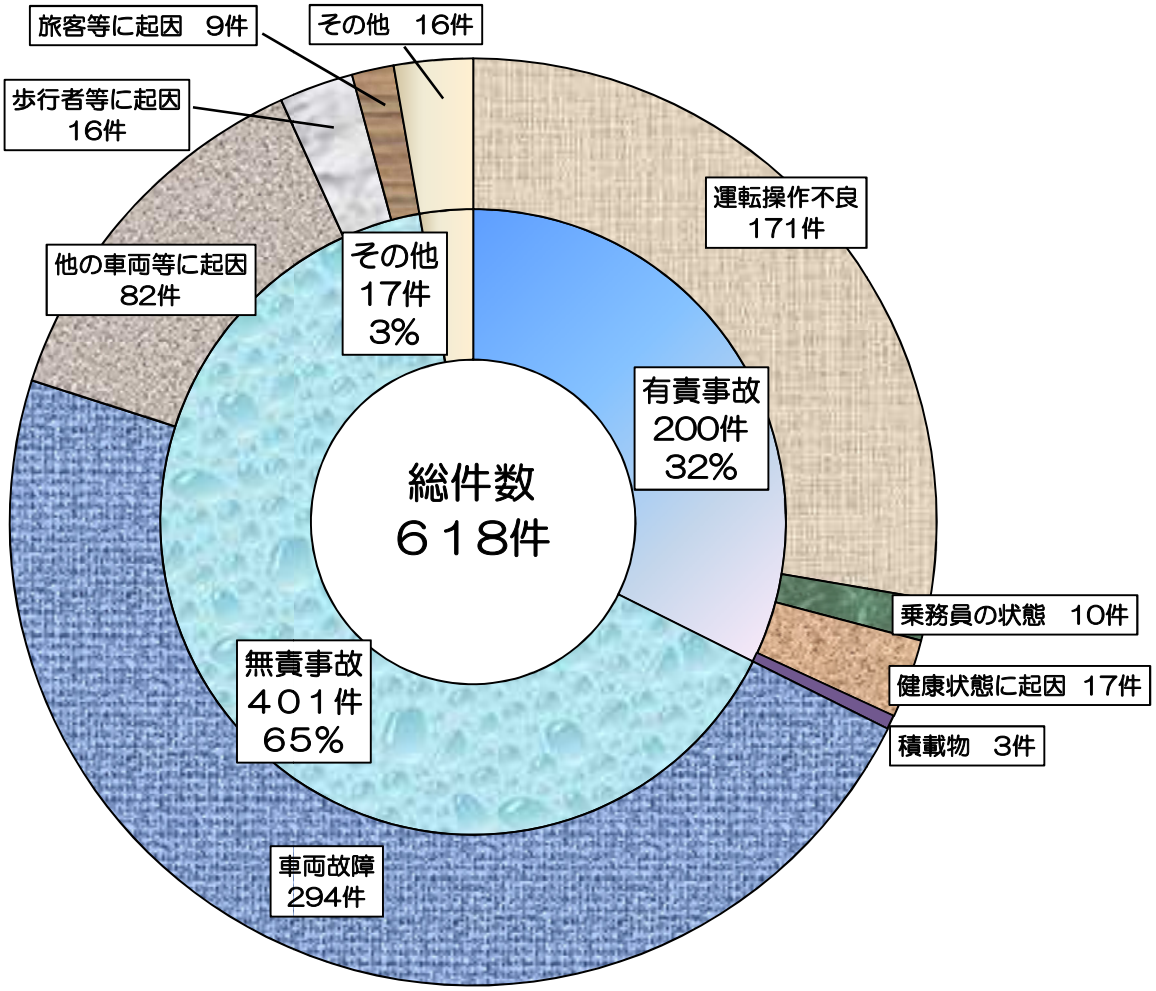
〔図 8-2〕　（歩行者等に起因するもの　２４件）



４．事故原因別発生状況

事故の原因を事業用自動車の運転者に起因する事故（以下「有責事故」という）と相手側に起因する事故等（以下「無責事故」という）に分けると、〔図 9〕のとおり有責事故が 201 件（32%）、無責事故が 401 件（65%）で、無責事故の方が高い割合を占めています。また、有責事故 201 件中 171 件は、運転者の運転操作不良によるものとなっています。

〔図9〕 原因別重大事故発生状況



更に、有責事故について、その内容を業態別、発生順位別にみると〔表 7〕のとおりです。業態別にみるとバスは「発進時の安全確認不良又は不履行」、ハイタクは「左折、右折不適切」、トラックは「漫然運転」による事故が多くなっています。

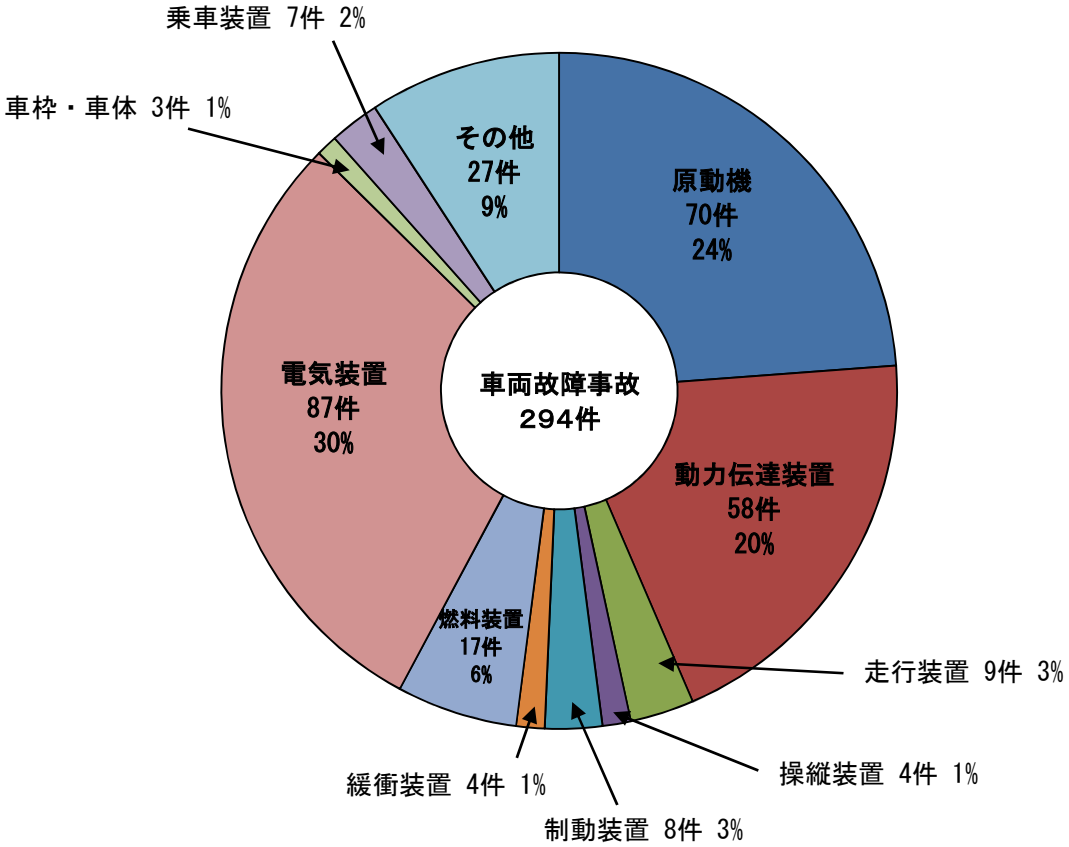
また、車両故障に起因するものは 294 件発生しており、発生状況は〔図 10〕のとおりです。

〔表 7〕有責事故の状況（第１原因）

業　態	順　位	事　故　原　因	件　数	比　率
バス	1	発進時の安全確認不良又は不履行	１５	３６．５%
	2	左折、右折不適切	２	４．８%
	2	乗降口扉の開閉不適切	２	４．８%
		バス事故合計	４１	１００%
ハイタク	1	左折、右折不適切	１５	２５．８%
	2	歩行者に対する不注意	９	１５．５%
	3	転回不適切	７	１２．０%
		ハイタク事故合計	５７	１００%
トラック	1	漫然運転	１９	１９．３%
	2	脇見運転	１７	１７．３%
	3	歩行者に対する不注意	８	８．１%
		トラック事故合計	１０２	１００%

※第一原因のみ集計したものです。

〔図 10〕　車両故障事故発生状況



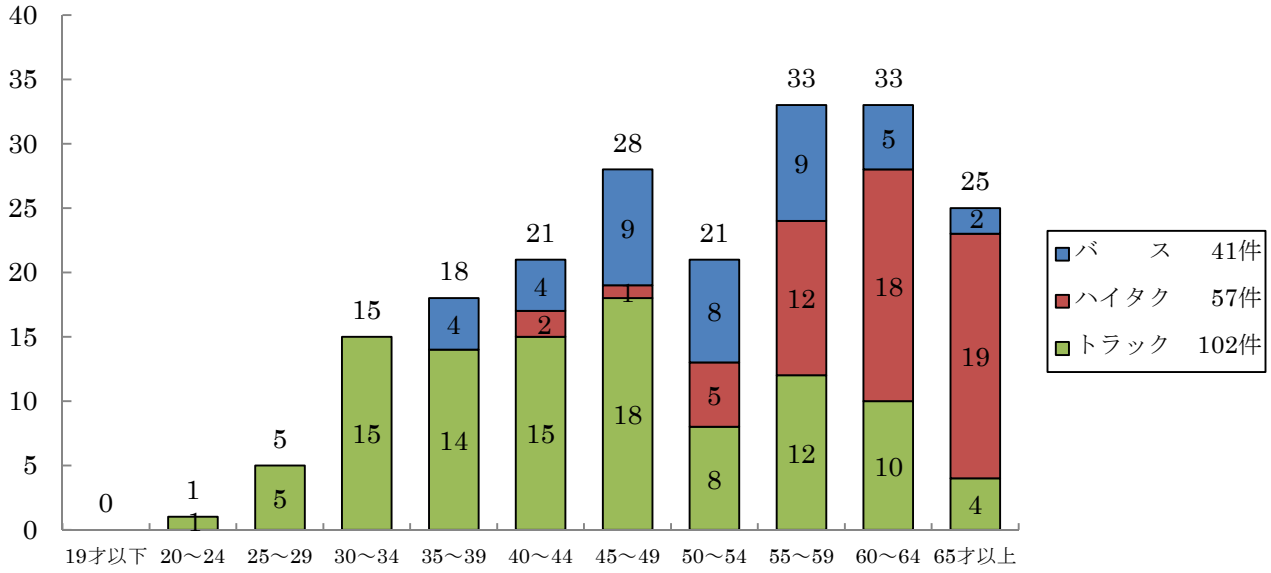
５．事故惹起運転者の状況（有責事故）

有責事故を惹起した運転者の状況は次のとおりです。

① 運転者の年齢

運転者の年齢を業態別にみると、バス及びトラックについては年齢毎の大きな特徴は見られませんが、ハイタクについては40歳未満の運転者の事故はなく、特に60歳以上の運転者による事故が多くなっています。

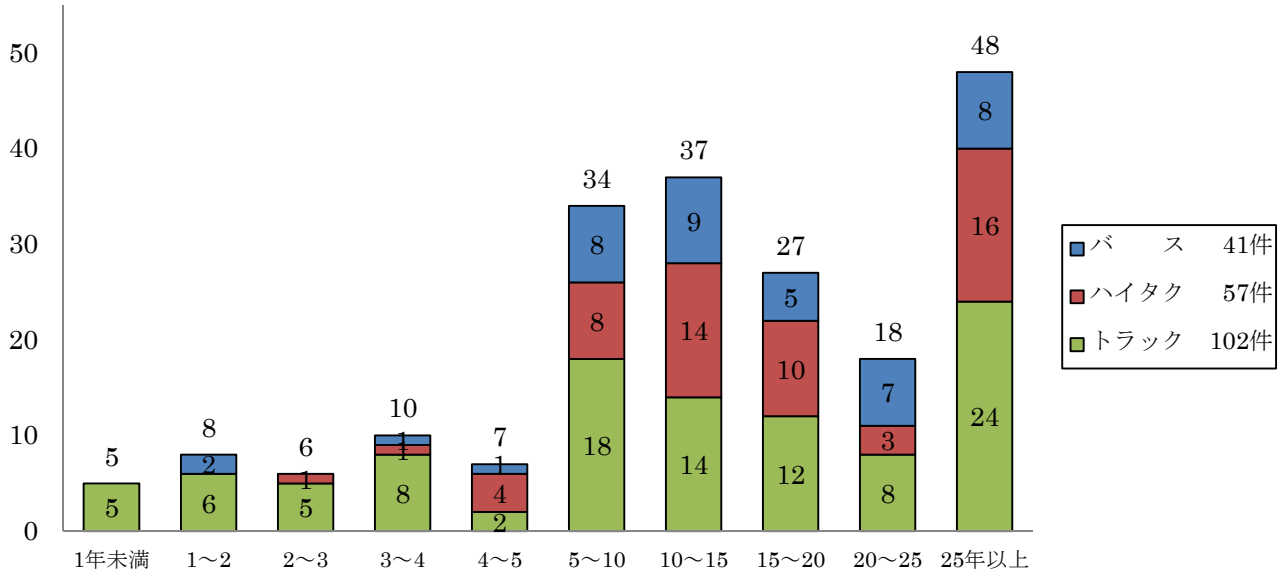
〔図11〕 有責事故発生運転者の年齢（有責事故件数 ２００件）



② 運転者の経験年数

運転手の経験年数については〔図 12〕のとおりです。経験年数と比例して事故が減少する傾向は見られず、5 年以上の経験年数を積んでいる運転者の事故が多く発生しており、特に経験年数 25 年以上の運転者による事故が多くなっています。

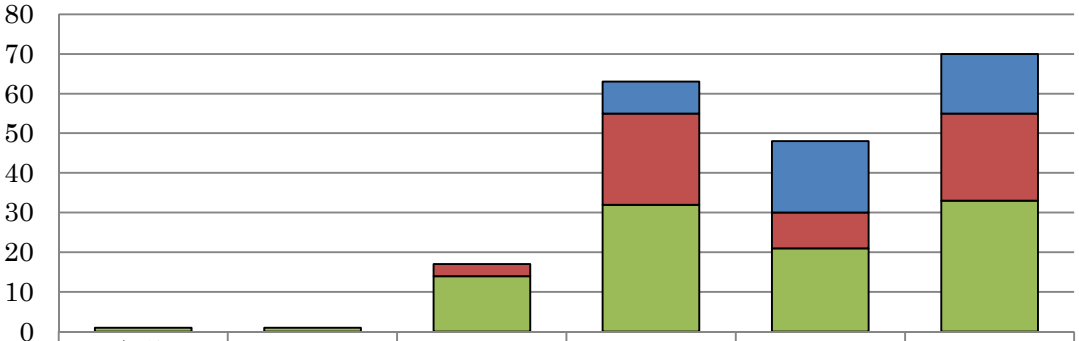
〔図12〕 有責事故発生運転者の経験年数（有責事故件数 ２００件）



③　有責事故発生日以前１ヶ月間の休日日数

事故発生運転者の休暇状況は〔図13〕のとおり、１ヶ月間に８日以上の休暇をとっていた運転者が全体の35%を占めています。

〔図13〕 事故発生以前１ヶ月間の休日日数（有責事故件数 ２００件）

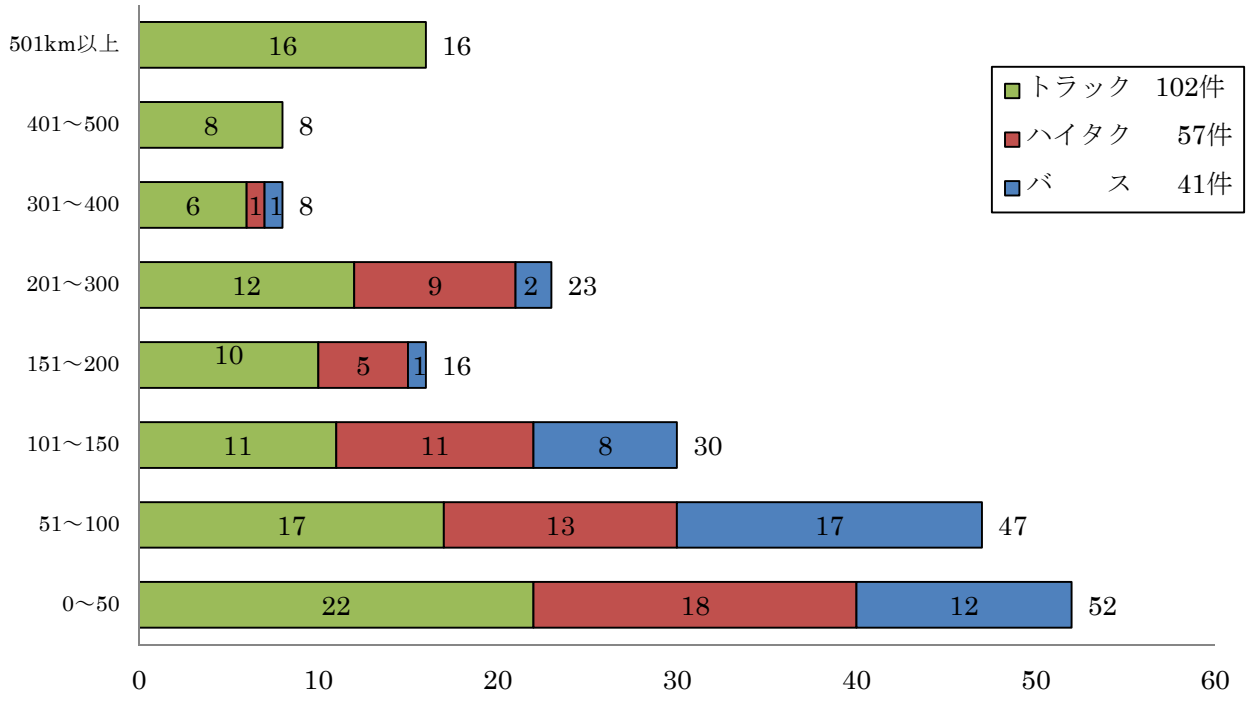


	無休	1日	2～3日	4～5日	6～7日	8日以上
合計	1	1	17	63	48	70
バス 41件				8	18	15
ハイタク 57件			3	23	9	22
トラック 102件	1	1	14	32	21	33

④　事故発生日における乗務距離

事故当日における乗務距離は〔図14〕のとおり、乗務開始から100kmまでに事故を起こしたものが全体の約50%を占めています。

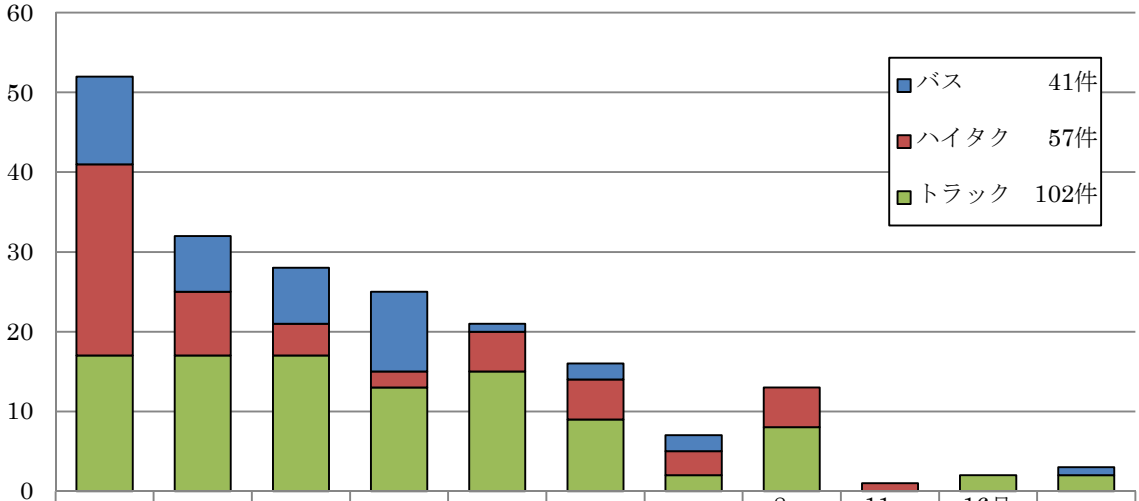
〔図14〕 乗務開始から事故発生までの乗務距離（有責件数 ２００件）



⑤　最近の休日から事故当日までの勤務日数及び乗務距離

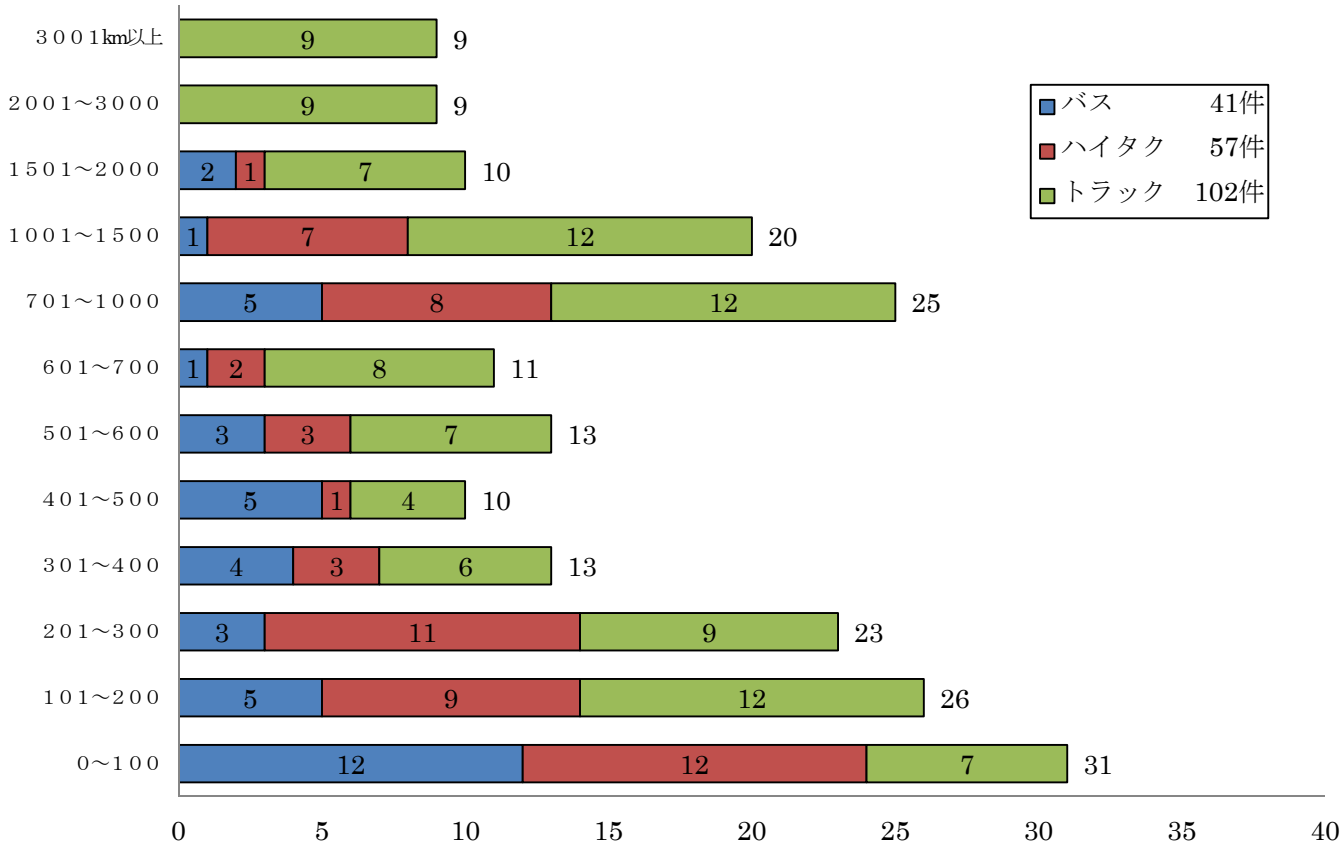
事故発生運転者の、最近の休日から事故発生までの勤務日数及び乗務距離は、〔図15〕及〔図16〕のとおりです。休日の２日目までに全体の42%の事故が発生しており、休日明けの乗務開始時に事故が多いことを示しています。

〔図15〕　休日から事故発生までの勤務日数（有責事故件数　２００件）



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8～10日	11～15日	16日以上	不明
合計	52	32	28	25	21	16	7	13	1	2	3
バス　41件	11	7	7	10	1	2	2				1
ハイタク　57件	24	8	4	2	5	5	3	5	1		
トラック　102件	17	17	17	13	15	9	2	8		2	2

〔図16〕　休日から事故発生までの乗務距離（有責事故件数　２００件）

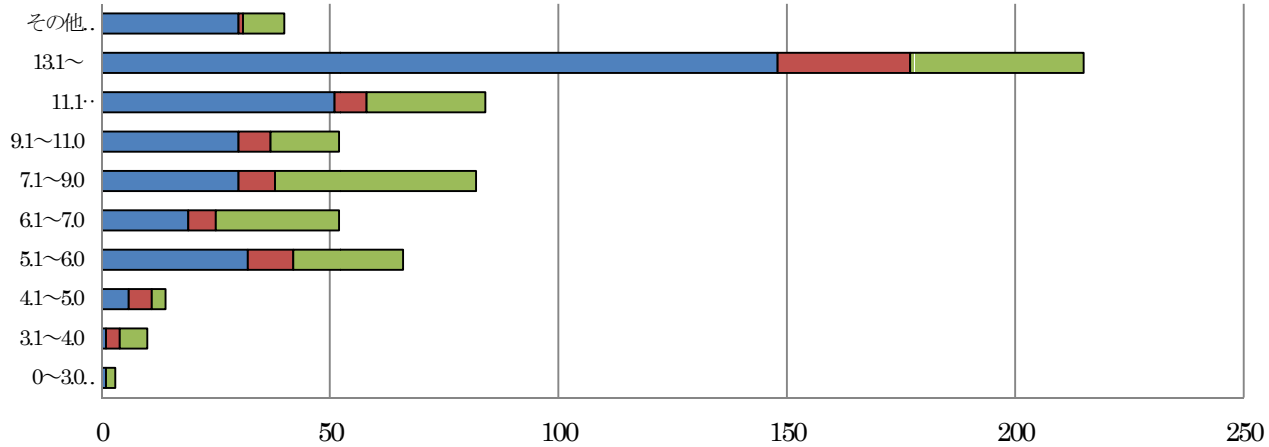


６．事故発生地点の道路状況

①　道路幅員

事故発生地点の道路幅員についてみると〔図17〕のように、狭い道路よりもある程度幅員のある道路での事故発生が多く、13.1m以上の道路での事故が35%となっています。

〔図17〕　道路幅員における事故発生状況（総件数　６１８件）

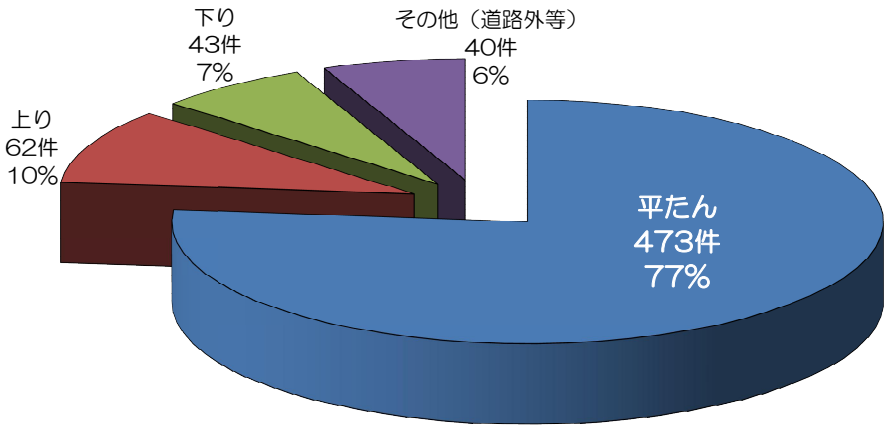


	0～3.0 (m)	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1～6.0	6.1～7.0	7.1～9.0	9.1～11.0	11.1～13.0	13.1～	その他 (路外等)
バス　348件	1	1	6	32	19	30	30	51	148	30
ハイタク　76件	0	3	5	10	6	8	7	7	29	1
トラック　194件	2	6	3	24	27	44	15	26	38	9
合　計	3	10	14	66	52	82	52	84	215	40

②　道路勾配

事故発生地点の道路勾配についてみると〔図18〕のように、「平たん」が全体の77%を占め、次いで「上り」の10%、「下り」の7%となっています。

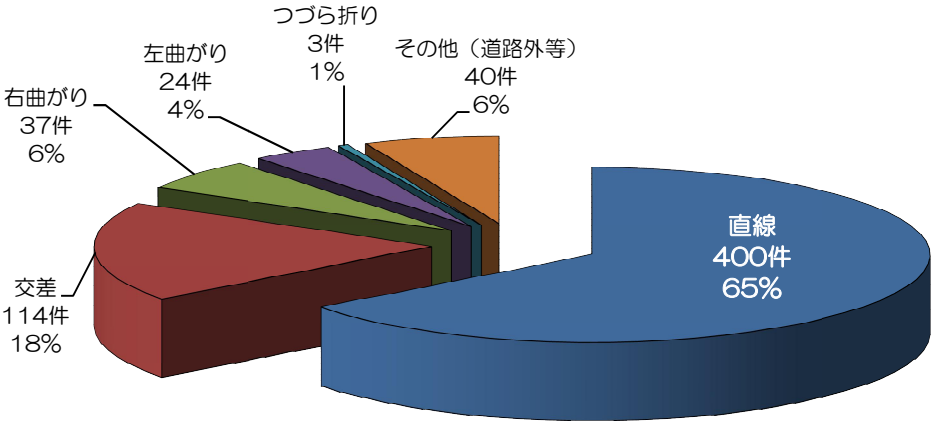
〔図18〕　道路の勾配等における事故発生状況（総件数　６１８件）



③　道路の形態

道路の形態についてみると〔図19〕のように、直線道路での事故が最も多く全体の65%を占めており、次いで交差点での事故が18%となっています。

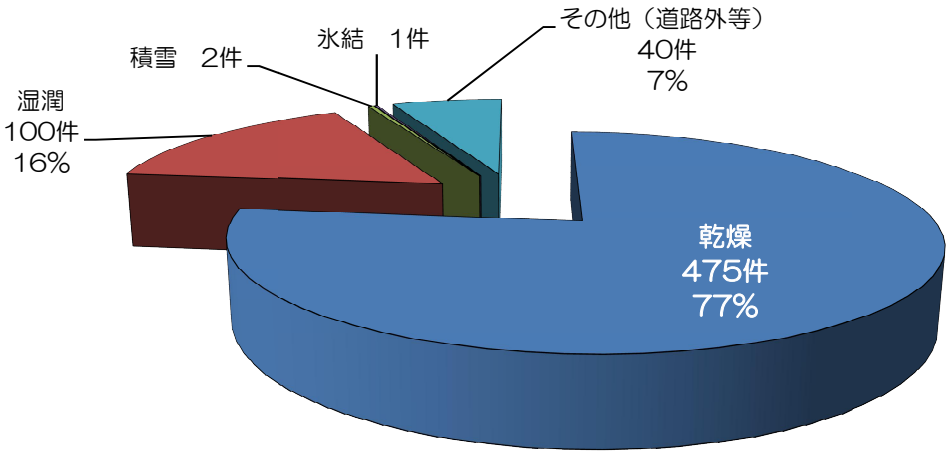
〔図19〕　直進、曲線等別事故発生状況（総件数　６１８件）



⑤　路面の状態

路面の状態についてみると〔図20〕のように、乾燥路面が最も多く全体の77%を占めており、次いで湿潤が16%となっています。

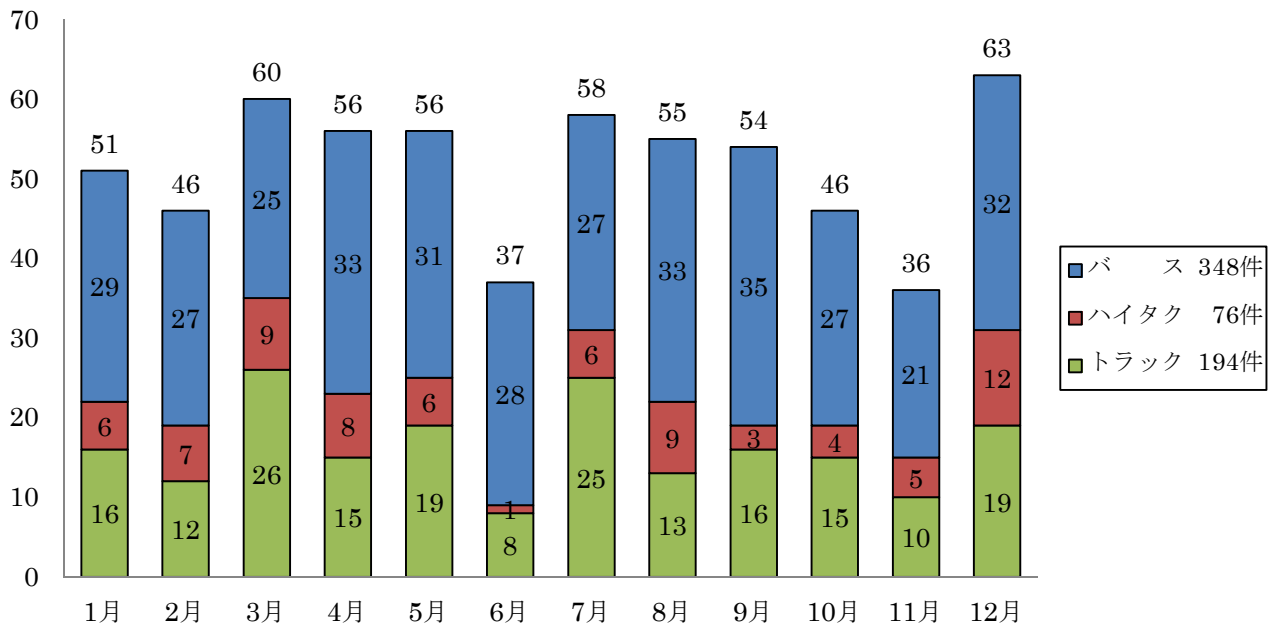
〔図20〕　路面の状態別事故発生状況（総件数　６１８件）



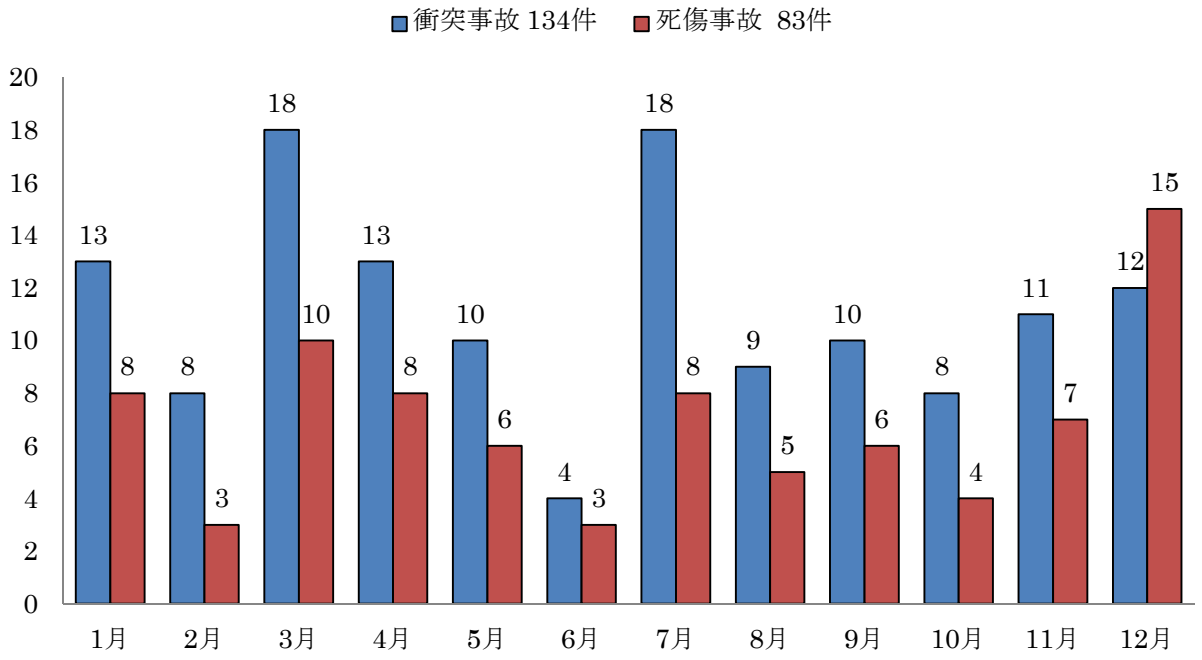
７．月別・曜日別・時刻別事故発生状況

①　月別業態別事故発生状況

〔図21-1〕　月別業態別事故発生状況（総件数　６１８件）



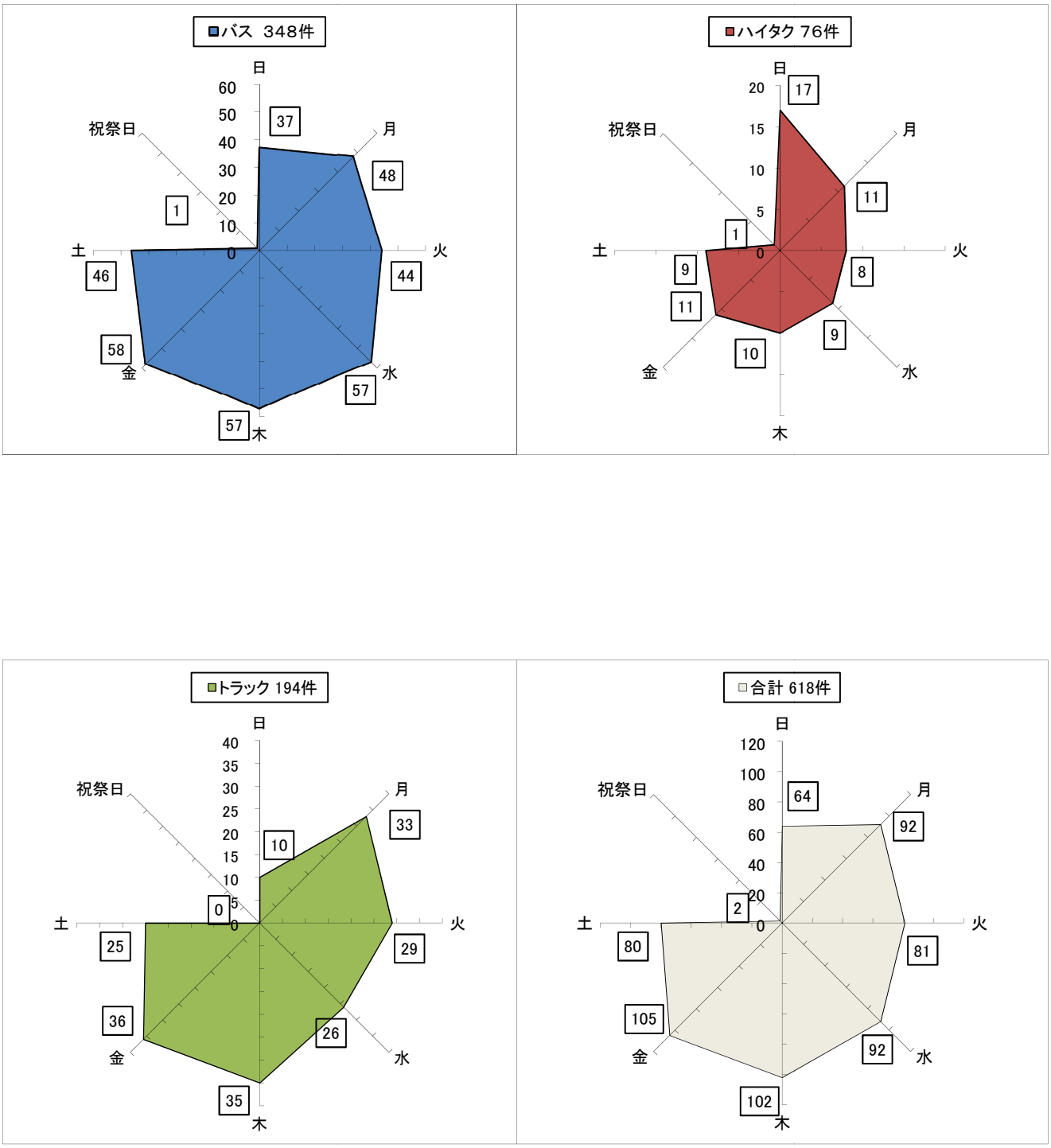
〔図21-2〕　月別・種類別事故発生状況



② 曜日別事故発生状況

曜日別の事故発生状況については〔図22〕のとおり、バス及びトラックについては日曜の事故発生率が低くなっています。

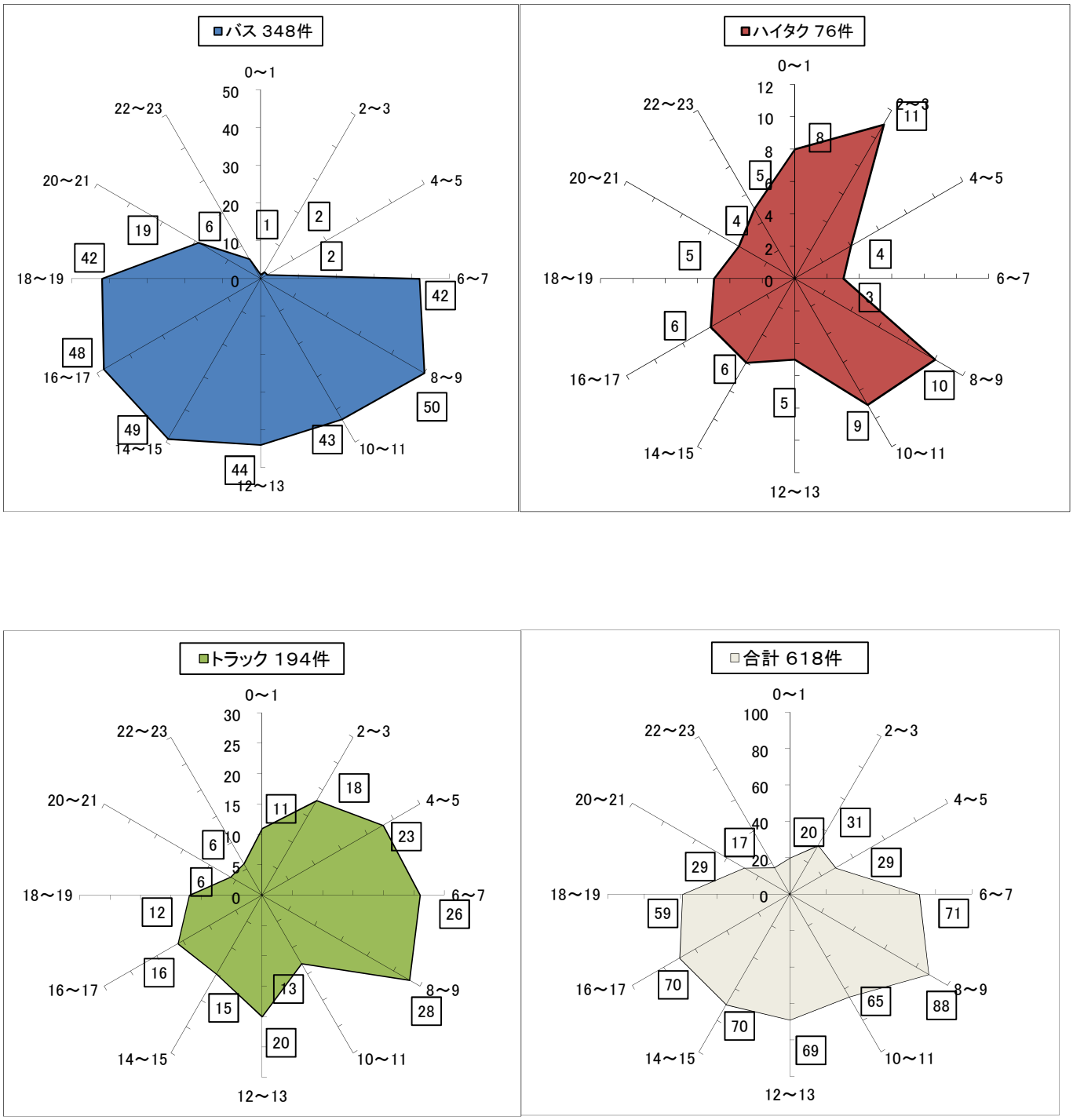
〔図22〕 曜日別事故発生状況



③　時刻別事故発生状況

時刻別の事故発生状況は〔図23〕のとおり、ハイタクについては午前及び深夜、トラックについては深夜から早朝にかけての事故が多くなっています。

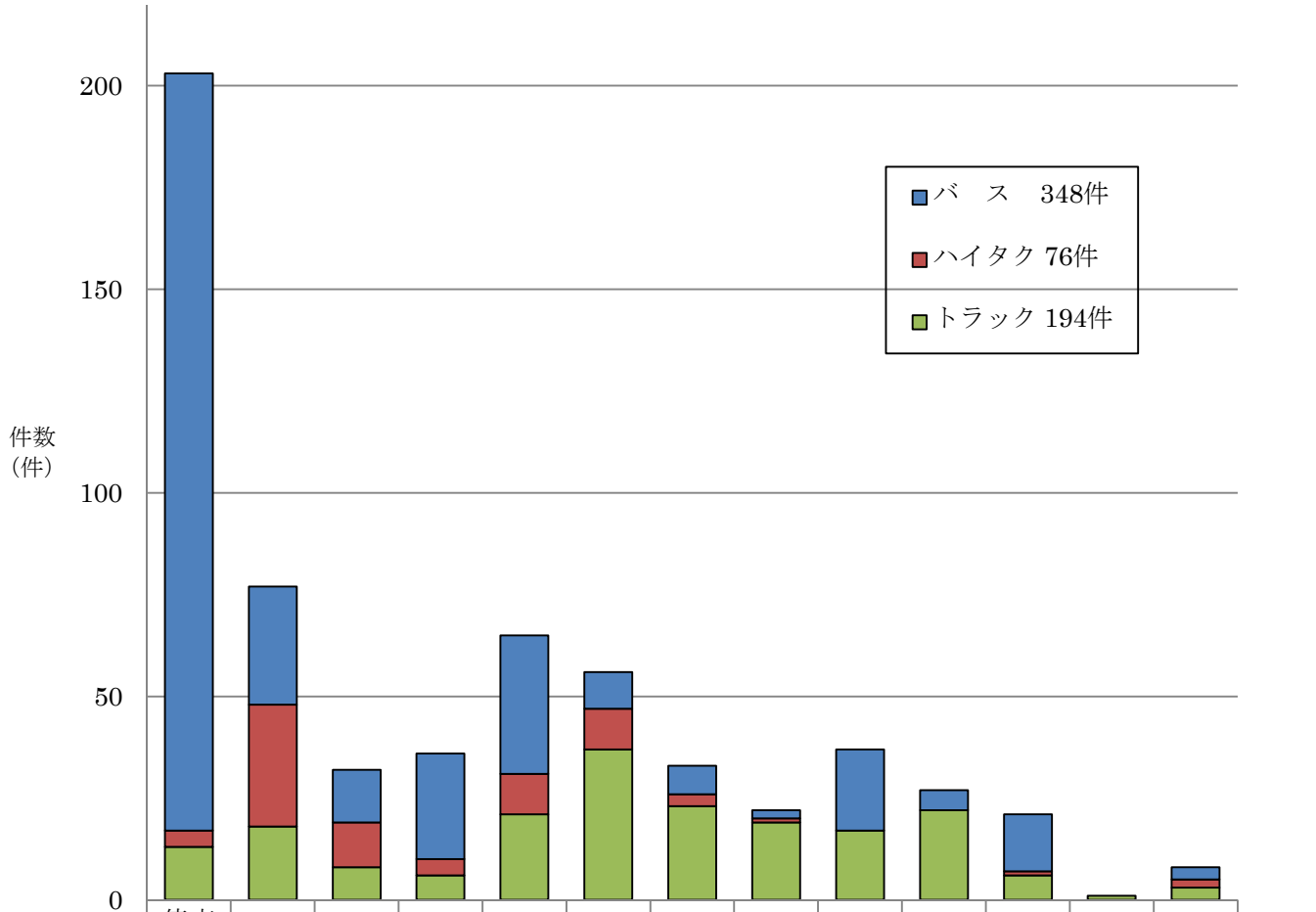
〔図23〕　時刻別事故発生状況



８．危険認知速度別事故発生状況

危険認知速度別の発生状況では〔図24〕のとおりです。業態別にみると、バスについては停車中の事故が最もが多く、ハイタクについては1～10km/hまでが最も多く、トラックについては31～60km/hまでが多く発生しています。

〔図24〕 危険認知速度別事故発生状況



	停車中	1～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81～90	91～100	101以上	不明
バ　ス　348件	186	29	13	26	34	9	7	2	20	5	14		3
ハイタク 76件	4	30	11	4	10	10	3	1	0	0	1	0	2
トラック 194件	13	18	8	6	21	37	23	19	17	22	6	1	3

９．高速道路等における重大事故発生状況

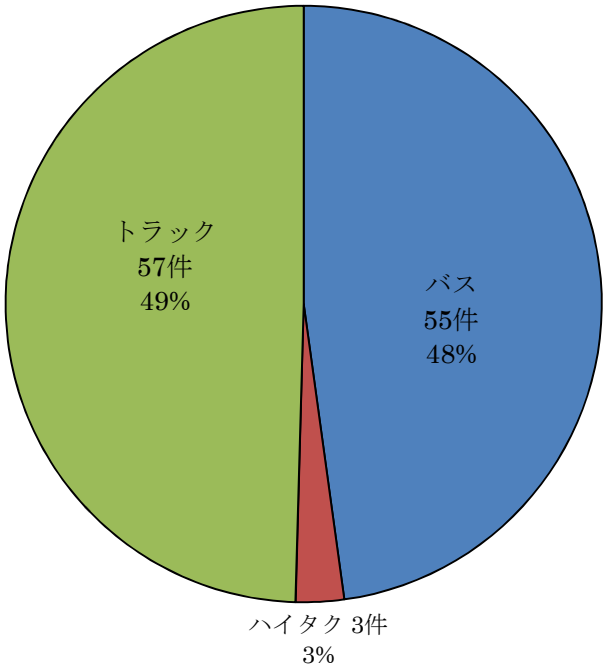
① 業態別重大事故発生状況

高速自動車国道及び自動車専用道路における重大事故発生状況は〔表8〕のとおりであり、全事故件数618件中115件と全体の約18%を占めています。業態別事故発生の割合は〔図25〕のとおりで、バスは48%、トラックは50%となっています。

〔表8〕業態別重大事故発生状況

業態／道路／項目	バス		ハイタク		トラック		計		合計
	高速	専用	高速	専用	高速	専用	高速	専用	
重大事故件数	５２	３	２	１	５６	１	１１０	５	１１５
死者数	０	１	１	０	１４	０	１５	１	１６
重傷者数	１	１	１	０	１９	０	２１	１	２２
軽傷者数	１	５	２	０	６３	０	６６	５	７１

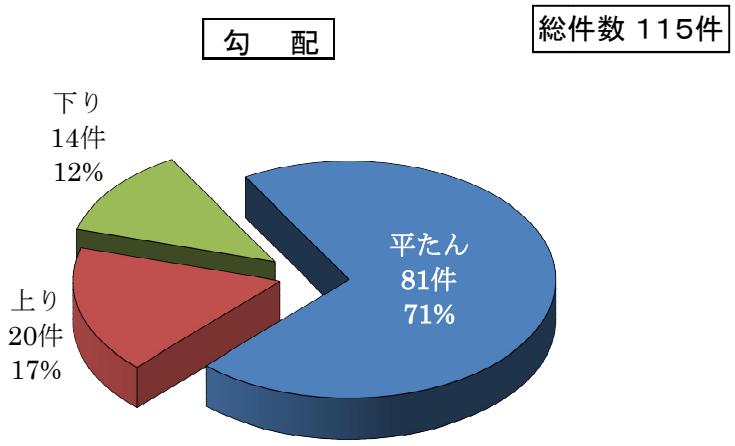
〔図25〕 業態別重大事故発生状況



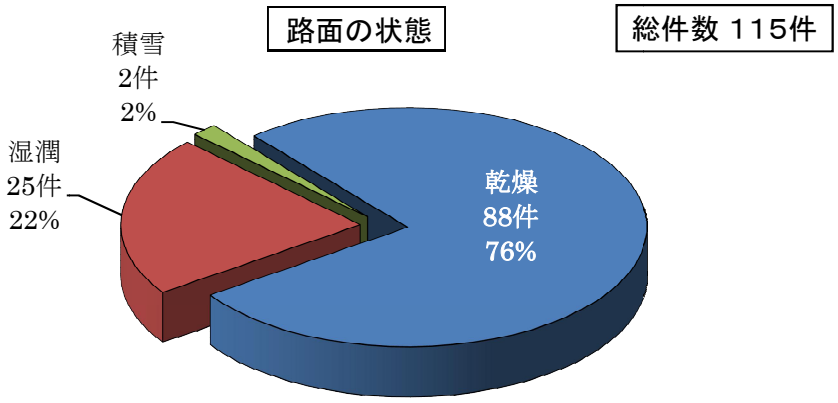
② 事故発生地点の道路状況

事故発生地点の道路状況については〔図26-1〕〔図26-2〕〔図26-3〕のとおりです。

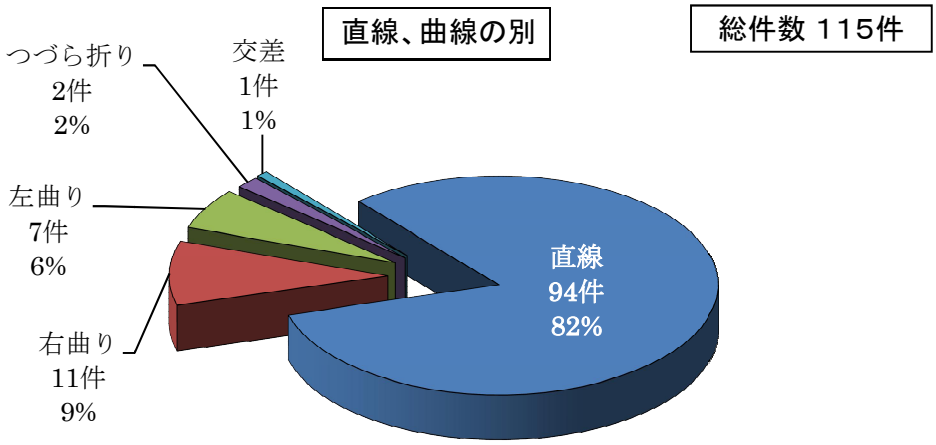
〔図26-1〕



〔図26-2〕



〔図26-3〕



Ⅲ　管内事業用自動車の重大事故統計

1. 業態別・県別・年次別重大事故発生状況

業態 / 年 / 県別	バス					ハイタク					トラック					合計				
	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26
福　岡	252	223	228	201	210	27	38	24	31	36	72	72	71	75	64	351	333	323	307	310
佐　賀	6	6	13	5	13	1	4	2		3	27	23	23	18	26	34	33	38	23	42
長　崎	30	33	28	47	30	34	19	15	30	24	19	13	12	18	13	83	65	55	95	67
熊　本	6	13	24	11	13	2	8	6	3	6	21	24	28	31	17	29	45	58	45	36
大　分	7	11	25	21	13	1	3	2	2	1	14	14	11	16	16	22	28	38	39	30
宮　崎	15	4	9	8	7	3	3	3	4	4	17	20	21	14	24	35	27	33	26	35
鹿児島	73	40	58	68	62	4	7	9	3	2	25	31	32	30	34	102	78	99	101	98
計	389	330	385	361	348	72	82	61	73	76	195	197	198	202	194	656	609	644	636	618

2. 業態別・事故の種類別・年次別重大事故発生状況

業態 / 年 / 県別	バス					ハイタク					トラック					合計				
	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26
転　覆		1		1				2	6		14	13	18	25	20	14	14	20	32	20
転　落			1	1		1	2		1	1	5	8	9	8	6	6	10	10	10	7
路外逸脱				1	1							1					1		1	1
火　災	1	4		1		1	1	1	2	1	13	14	21	12	21	15	19	22	15	22
踏　切	1								1		1	1	1		1	2	1	1	1	1
衝　突	24	30	19	24	17	36	31	19	28	29	91	97	74	83	88	151	158	112	135	134
車　内	45	51	53	47	36	5			2	1						50	51	53	49	37
死　傷	9	12	17	15	6	28	36	34	27	37	51	35	49	49	40	88	83	100	91	83
健康起因	5	2	7	4	11	1	5	3	2	4	1	3	4	3	1	7	10	14	9	16
危険物等												1		2	1		1		2	1
車両故障	304	229	287	267	277			1	1		7	5	9	7	2	311	234	297	275	279
その他		1	1				7	1	3	3	12	19	13	13	14	12	27	15	16	17
計	389	330	385	361	348	72	82	61	73	76	195	197	198	202	194	656	609	644	636	618

3. 県別・業態別重大事故発生状況

業態		バス								ハイタク							
区分＼県別		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	計	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	計
件数		210	13	30	13	13	7	62	348	36	3	24	6	1	4	2	76
死者数		0	1	3	1	0	1	1	7	6	0	1	2	1	3	0	13
負傷者		63	7	30	7	1	3	10	121	41	2	25	5	0	7	0	80
事故100件当り	死者	0.0	7.7	10.0	7.7	0.0	14.3	1.6	2.0	16.7	0.0	4.2	33.3	100.0	75.0	0.0	17.1
	傷者	30	54	100	54	8	43	16	35	114	0	104	83	0	175	0	105
自動車1,000台当たり	件数	44.7	17.8	13.7	8.0	12.7	8.0	26.9	25.9	2.9	2.5	7.1	1.6	0.4	1.8	0.5	2.6
	死者	0.0	1.4	1.4	0.6	0.0	1.1	0.4	0.5	0.5	0.0	0.3	0.5	0.4	1.4	0.0	0.4
	傷者	13.4	9.6	13.7	4.3	1.0	3.4	4.3	9.0	3.3	1.7	7.4	1.3	0.0	3.2	0.0	2.7
対象自動車		4700	732	2189	1626	1022	872	2302	13443	12418	1210	3366	3757	2409	2207	4081	29448

業態		トラック								合計（バス・ハイタク・トラック）							
区分＼県別		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	計	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	合計
件数		64	26	13	17	16	24	34	194	310	42	67	36	30	35	98	618
死者数		24	12	7	3	5	9	9	69	30	13	11	6	6	13	10	89
負傷者		82	14	9	8	13	34	29	189	186	23	64	20	14	44	39	390
事故100件当り	死者	37.5	46.2	53.8	17.6	31.3	37.5	26.5	35.6	9.7	31.0	16.4	16.7	20.0	37.1	10.2	14.4
	傷者	128	54	69	47	81	142	85	97	60	55	96	56	47	126	40	63
自動車1,000台当たり	件数	1.3	2.7	1.5	1.1	1.7	2.3	2.0	1.6	4.5	3.6	4.7	1.8	2.3	2.6	4.2	3.8
	死者	0.5	1.2	0.8	0.2	0.5	0.8	0.5	0.6	0.4	1.1	0.8	0.3	0.5	0.9	0.4	0.5
	傷者	1.6	1.4	1.0	0.5	1.4	3.2	1.7	1.6	2.7	2.0	4.5	1.0	1.1	3.2	1.7	2.4
対象自動車		51121	9779	8814	15005	9521	10614	16753	121607	68239	11721	14369	20388	12952	13693	23136	164498

（注）トラックには特種用途車を含み、被けん引車は除かれる。

4.県別・業態別・種類別重大事故発生状況（平成26年）

支局	業態＼事故種類	合計			転覆			転落			路外逸脱			火災			踏切		
		件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
福岡	バス	210		63															
	ハイタク	36	6	41				1		3									
	トラック	64	24	82	6		5	1		1				7			1		8
	計	310	30	186	6		5	2		4				7			1		8
佐賀	バス	13	1	7															
	ハイタク	3	1	2															
	トラック	26	12	14	2		2							2					
	計	42	14	23	2		2							2					
長崎	バス	30	3	30															
	ハイタク	24	1	25										1					
	トラック	13	7	9	1														
	計	67	11	64	1									1					
熊本	バス	13	1	7							1								
	ハイタク	6	2	5															
	トラック	17	3	8	1			2		1				5					
	計	36	6	20	1			2		1	1			5					
大分	バス	13		1															
	ハイタク	1	1																
	トラック	16	5	13	3		1							2					
	計	30	6	14	3		1							2					
宮崎	バス	7	1	3															
	ハイタク	4	3	7															
	トラック	24	9	34	2		1	2		2				2					
	計	35	13	44	2		1	2		2				2					
鹿児島	バス	62	1	10															
	ハイタク	2																	
	トラック	34	9	29	5			1		1				3					
	計	98	10	39	5			1		1				3					
合計	バス	348	7	121							1								
	ハイタク	76	14	80				1		3				1					
	トラック	194	69	189	20		9	6		5				21			1		8
	計	618	90	390	20		9	7		8	1			22			1		8

支局	事故種類／業態	衝突			車内			死傷			健康起因			危険物等			車両故障		
		件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
福岡	バス	4		34	20		24	3		3	2		2				181		
	ハイタク	11	1	19				22	4	18	2	1	1						
	トラック	25	12	55				16	11	6	1	1		1			1		
	計	40	13	108	20		24	41	15	27	5	2	3	1			182		
佐賀	バス	2	1	5	1		1				1		1				9		
	ハイタク							2	1	1	1		1						
	トラック	15	7	11				6	5	1							1		
	計	17	8	16	1		1	8	6	2	2		2				10		
長崎	バス	4	1	23	7		7	2	2		2						15		
	ハイタク	13		16	1		1	9	1	8									
	トラック	6	6	5				4	1	3									
	計	23	7	44	8		8	15	4	11	2						15		
熊本	バス	3	1	2	5		5				3						1		
	ハイタク	3	2	2				2		2									
	トラック	4	2	4				3	1	2									
	計	10	5	8	5		5	5	1	4	3						1		
大分	バス	1		1													12		
	ハイタク							1	1										
	トラック	10	5	11				1		1									
	計	11	5	12				2	1	1							12		
宮崎	バス	1		2							3	1	1				3		
	ハイタク	2	1	7				1	1		1	1							
	トラック	13	8	26				3	1	2									
	計	16	9	35				4	2	2	4	2	1				3		
鹿児島	バス	2		7	3		3	1	1								56		
	ハイタク																		
	トラック	15	7	22				7	2	5									
	計	17	7	29	3		3	8	3	5							56		
合計	バス	17	3	74	36		40	6	3	3	11	1	4				277		
	ハイタク	29	4	44	1		1	37	8	29	4	2	2						
	トラック	88	47	134				40	21	20	1	1		1			2		
	計	134	54	252	37		41	83	32	52	16	4	6	1			279		

支局	業態＼事故種類	飲酒等			救護違反			交通障害			その他		
		件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
福　岡	バ　ス												
	ハイタク												
	トラック	3		1	1		4	1		2			
	計	3		1	1		4	1		2			
佐　賀	バ　ス												
	ハイタク												
	トラック												
	計												
長　崎	バ　ス												
	ハイタク												
	トラック				1		1	1					
	計				1		1	1					
熊　本	バ　ス												
	ハイタク										1		1
	トラック							2		1			
	計							2		1	1		1
大　分	バ　ス												
	ハイタク												
	トラック												
	計												
宮　崎	バ　ス												
	ハイタク												
	トラック							2		3			
	計							2		3			
鹿児島	バ　ス												
	ハイタク	2											
	トラック	2						1		1			
	計	4						1		1			
合　計	バ　ス												
	ハイタク	2									1		1
	トラック	5		1	2		5	7		7			
	計	7		1	2		5	7		7	1		1

5. その他

〔1〕 年別・業態別事業用自動車保有台数の推移 （九州）

各年12月末現在

業態＼年別	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
バス	13,283	13,203	13,165	13,217	13,302	13,399	13,443
ハイタク	32,920	32,335	31,510	30,508	29,990	29,774	29,448
トラック	120,561	118,563	118,405	119,786	120,292	120,500	121,607
合　計	166,764	164,101	163,080	163,511	163,584	163,673	164,498

〔2〕 県別・業態別事業用自動車保有台数

平成26年12月末現在

業態＼県別	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	合　計
バス	4,700	732	2,189	1,626	1,022	872	2,302	13,443
ハイタク	12,418	1,210	3,366	3,757	2,409	2,207	4,081	29,448
トラック	51,121	9,779	8,814	15,005	9,521	10,614	16,753	121,607
合　計	68,239	11,721	14,369	20,388	12,952	13,693	23,136	164,498

（注） トラックには特種用途車を含み、被けん引車は除く。